

K A K E G A W A
かけがわ 第17号
市議会
だより

平成20年8月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



しあさいばし
潮騒橋にて

おもな内容 ————— CONTENTS

- | | |
|------------------|--------|
| ● 6月定例会の概要 | 2 ページ |
| ● 議員定数について | 3 ページ |
| ● 一般質問 | 4 ページ |
| ● 審議結果一覧 | 11 ページ |
| ● 傍聴席 / 9月定例会の予定 | 12 ページ |

6月定例会

6月30日に開催された企業会計決算特別委員会において、平成19年度病院・水道事業会計とも慎重に審査が行われ、7月4日の本会議で認定されました。

地震が起きても大丈夫?

水道管の耐震化率4.0%

地震初期には飲料水3日分
4万トンの給水を確保

どうしたら
赤字は
解消できるの?

水道事業会計決算委員長報告(抜粋)

問 給水人口及び給水戸数は増加しているのに、給水量が前年度と比べて減少した要因は何か。

答 企業の節水努力や単身世帯の増加、また全般的な節水意識の向上などにより1人当たりの使用水量が減少したと考えられる。

問 水道管の耐震化はどのくらい進んでいるのか。地震発生時における給水の対応は大丈夫か。

答 水道管全体982kmのうち、災害時に給水拠点に主として配水できる幹線管路で117km、耐震化率は6.5%、管全体で見ると4.0%である。老朽管の改良は最優先し、あと2年で終わる予定である。

貯水槽はプレストレストコンクリートでつくられ、地盤も強固な場所に設置されているので心配はない。地震初期には3日くらいの4万トンの給水は確保できる。

問 繰上償還はしていないのか。

答 会計の健全化対策として、後年度負担の軽減を図るため、19年度から21年度までの間に18本の償還を行う。19年度は2本6,623万円、7.1%のものを全額自己資金で繰上償還した。これにより支払利息が1,778万円軽減される。

病院事業会計決算委員長報告(抜粋)

問 人間ドックの受け入れ体制と実態はどうか。

答 特定健診制度への変更により、待機者が出た。1日約40人の1泊・日帰り、企業健診を実施している。国民健康保険が対象年齢枠を広げたこともあり、需要は増えている。

問 大幅な純損失が出ているが、適正な医師数が確保できれば、赤字は解消されるのか。

答 医師数が増えれば、収益も増えるので、赤字が減る期待はできる。公立病院は、不採算業務が多々あり、赤字が全く解消するというのは難しい。

問 新病院建設後に現在の医療機器はどのくらい使用できるのか。また、減価償却の残存価格はいくらか。

答 医療機器の耐用年数は、大体6年～8年であり、新病院建設後では、大半が耐用年数が過ぎている状態になると思う。年度末償却未済高は約76億円である。



議員発議で

議員定数6減 30→24

掛川市議会では、平成19年度「議会活性化特別委員会」を設置しました。当時の議長として、正副委員長に次回市議会選挙での定数削減も検討するようお願いをしました。

2月定例会での委員長報告では、「議員定数削減には慎重論もあったが、当委員会としては『次回の選挙より議員定数を削減すること』を提言するものである。なお、議員定数については、24人が妥当であるとの意見が多かった。しかし、急激な削減は混乱をきたす恐れがあり、地域格差もあることから段階的に進めることが望ましいとの意見もあったことを付記しておく。」との提言でありました。

これを受け、議会運営委員会で検討した結果、最終的に議員懇談会で結論を出すことになりました。議員懇談会で一人ひとりの意見を確認したところ、定数24が23名、定数27が4名、現状維持が2名であり、定数24と決しました。

7月30日に臨時会を開き、議員発議による「掛川市議会の議員の定数を定める条例」が提案されました。



議会運営委員会委員長 鳥井昌彦

可決された意見書
(要旨)

障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書

次の処置を講ずるよう強く求める。

一、利用者負担は能力に応じた応能負担を原則とすること。また、利用料の算定に当たっては、本人収入のみに着目すること

二、指定障害福祉サービス事業者等に対する報酬を月割制へ戻し、概ね障害者自立支援法施行以前の収入を保障すること

三、自治体が決定したサービスや地域支援事業について、財源保障を行うこと

【提出先】

衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、厚生労働大臣

6月定例会の経過

6月

16日 本会議「平成十九年度企業会計決算、平成二十年一般会計補正予算等各議案の市長提案理由説明、監査委員の決算審査説明

24日 本会議「一般質問

25日 本会議「一般質問

26日 本会議「議案質疑、一部採決。議案・請願常任

委員会付託。企業会計決算特別委員会設置、付託。

常任委員会「付託議案・請願審査

30日 企業会計決算特別委員会「付託議案審査

7月

7月

4日 本会議「決算特別委員会・常任委員会委員長報告、討論、採決。(人事関係議案)市長提案説明採決。請願審査結果報告、採決。議会提案(意見書)採決。

一般質問

Q&A

トラブルから子どもを守る 携帯電話利用と対策

高木敏男（親和会）

Q 子どもに携帯電話を持たせる家庭が増えている。主として両親との連絡用であるが、問題も起きている。出会い系サイトを舞台にした犯罪に巻き込まれたり、掲示板への書き込みで、いじめも起きている。現状と対策を伺う。

A 小中学生の携帯電話所持率は、小六で約十%、中三が三十四%。電話とメールが主な使用道である。いじめの現状は、パソコンや携帯電話で誹謗中傷など嫌なことをされたことが四件あった。総合的な学習の時間を利用し、情報モラルやネットの正しい使い方などの学習を行ったり、保護者へも懇談会や学校だよりを通じて、携帯電話の危険性について情報提供を行うなど防止策に努めている。

歩行文化・スローライフ・報徳文化都市再宣言を

Q 地球温暖化防止に、ノーカーデーやマイバック運動など環境問題に積極的に取り組んでいる掛川市にとって、大日本報徳社の修復や全国報徳サミット開催を機に再宣言すべきである。



「ゆっくり・ゆったり・ゆたかな心」でスローライフを楽しむ

A 都市宣言について、議会でもう少し研究していた上で、再宣言の話があれば、議会の意向を尊重させていただきたいと考えている。また、あわせて、環境都市宣言についても検討をお願いしたいと考えている。

【他の質問事項】

小中学校特別支援学級の再編計画・進路指導、市立総合病院における院内暴力・未収金

百十八年の歴史を刻んだ掛川幼稚園の 継承と西保育園の跡地利用は

水合陽一（日本共産党）

Q 日本の幼児教育の中でも特筆すべき伝統を持ち、掛川の歴史からも後世に継承すべき掛川幼稚園を今後どう活用するのか。また、西保育園の歴史からも、地元活用をまず、検討すべきと思うが見解は。

A 幼保再編計画のため二園は二十一年三月に閉園となる。歴史的な継承の具体例としては、二つの閉園に当たり、記念誌を発行する予定になっている。平成二年に掛川幼稚園創立百周年記念誌が発刊されているので、それと関連つけた内容を盛り込みたいと考えている。跡地利用については、地元の意見を十分に聞き、検討していきたい。

新病院建設地は現在地と主張する責任が掛川市にはある

Q 現在5回まで開かれた新病院建設協議会の新しい病院のあり方は、市立病院の良さが見えてこないが見解は。また、病院の場所は、地元住民との歴史的な経過や立地条件からも現在地をもっと主張すべきと思うがいかがか。



現在地での存続を求める市民の声

A 協議会で示した五百床は適当な数だと思う。場所については、地元から現在地の存続希望の声があり、それは理解している。袋井市長との幹事会の席上で、「現在の場所が最も適していると思うが、袋井の意見も十分聞いた上で、場所を決定すべき」との特別委員長報告があった旨を伝えた。

【他の質問事項】

掛川市総合福祉センターの管理運営

一般質問

Q&A



児童養護施設「まきばの家」(デンマーク牧場)



静岡県の里親シンボルマーク

プロポーザル方式…業者から提出された事業提案書を審査して特定する業者選定方式

指定管理者の選定に関しては、今後原則公募型プロポーザルの方針を堅持していきたい。

なげていく。

A 課長等を対象に指定管理制度の運用、導入までのスケジュール、事業評価について全庁的な周知を図り、共通の認識を持つている。今後は、事業評価について、標準化できる事項は標準化し、評価結果を改善につなげていく。

の標準化などは。

例えば、プロポーザル方式は、事業評価のための運用マニュアル

Q 掛川市の指定管理者制度運用において、どのようなことを留意しているか。

指定管理者制度の運用における留意点と今後の方針を問う

児童養護施策の充実を求めて

戸塚久美子(みどりの会)

未登記？新・旧掛川警察署の「土地」

鷲山喜久(日本共産党)



掛川警察署

A 評価額の差額精算について、県警に再検討を求めているところである。十七年の仮鑑定時から比較すると、現在は、区画整理地が急激に整備されたことにより、新警察署の土地の鑑定価格が値上がりしてきているので、その差額を開

Q 新掛川警察署は、平成十八年三月に業務を開始した。旧警察署の土地と等価交換。「差額は金銭精算」と議員全員協議会で説明されたが、現在の土地所有関係はどのようになっているか。

発公社に支払っていた旨を県警にお願いしている。旧警察署の土地は県、新警察署の土地は市が所有している。

新病院は、二次救急に「特化」されている

Q 市民の求める病院は、保険証一枚で、いつでも、誰でも診察を受けられる病院である。

新病院は、救急で手術をした場合、在院日数が平均十二日間とされている。市民の願いとかけ離れていないか。

A 「いつでも、誰でも」というのは、確かにそれが理想だが、現在の状態では困難なことと考える。開業医とも連携しつつ、急性期入院医療を確実に実施できる病院として確立していくことが重要だと考えている。

【他の質問事項】
大須賀の坊主淵橋の必要性

一般質問

Q&A

堀内武治（みどりの会）
二期目出馬表明した市長の
政治理念、都市構想を質す

Q (1) グレードの高いまち、特徴ある理念、大きなビジョンを持つ夢ある都市構想を示すべきだが、市長の考えを問う。

A 掛川市の大きな課題として、健全財政、病院と環境都市の3つのことを考えている。同時に、今の総合計画もいろいろ見直ししていかなくてはならない。計画の十年後の人口予測は約十二万三千人となっているが、現在のまちの体系等を考えると十三万から十四万人という力があると考えて、いろいろな準備をしていく必要があるのではないか。

格差社会については、一番厳しいと思っているのは、高齢者のごとであり、格差社会の是正で市ができることは何か考え、今後取り組んでいきたい。

駅前再開発ビル、新エコーポリス第二期事業の動向は

Q (1) 駅前東街区再開発ビルイ優秀な特定業務代行者の選考は可能か。テナン

ト入居者の展望は。口再開発ビルの経営展望に確信が持てるか。

A 特定業務代行者の募集要項はほぼ決まっております、七月に募集開始、十一月には準備組合の総会において決定する予定である。

「都市再生機構」の話では、ビルの住宅部分については、ある大手企業が内定していると聞いている。テナントについても責任を持って進めていただいている。この事業が成功するよう、今後指導していきたい。

新エコーポリス第二期については、来年六月頃から造成工事を開始、平成二十二年度中には完成、販売開始をするという計画で進めている。現在、土地取得の意向を示している企業もあるが、企業誘致には今後も努力していきたい。

高塚昌彦（親和会）
掛川市の農業振興策について伺う

Q 市長は、二月定例会施政方針の中で「掛川型農業の発展・振興に努める」と言っているが、上土方地区の農業用水確保の現状をどのように把握しているか。また、農業従事者の高齢化対策について、どのように考えるか伺う。

A 上土方地区の農業用水として使用している小笠池は、堆積土砂が用水不足の原因となっていたが、平成十四年度から堆積土砂の浚渫、取水施設改修等のため池整備を実施したため、現在は貯水容量の十九万トン確保している。市内の農業従事者は半数近くが六十五歳以上で、高齢化がますます進行している。高齢者が健康で意欲的に地域営農に参加出来るよう、高齢者組織を育成し、加工品の開発や朝市などの管理運営活動、食文化伝承活動などを支援していきたい。

環境美化作業（草刈り作業等）の行政の対応は十分か

Q 河川堤防の草刈り奉仕作業中の事故対策はどうなっているか。また、作業上、非常に危険を伴うと思われ

る場所等は、業者に依頼すべきと思うが、それはできないか。

A 昨今の高齢化や住民意識の変化などから、草刈りが実施できない地区が年々増えている。市としては、今後の草刈り対策がどうあるべきかを検討するため、「草刈対策本部」を平成十九年十月に設置し、本年九月を目途に草刈りの方針を定める予定である。

【他の質問事項】
介護保険、桜木地区の課題

【他の質問事項】
公共交通空白地域の解消、労働力確保、学校教育の充実、市民の安全対策



草刈りしてきれいになった下小笠川

本会議傍聴者

今回も97人。

たくさんの傍聴をありがとうございました。

どなたでもお気軽に傍聴できます。途中でも入退場は自由です。
ロビーでは、テレビ中継もしています。

議会の花形ともいえる一般質問は、議員も市長も真剣勝負です。質問には、時間をかけて研究したり、市民の声を届けるよう政策を提言しようと一生懸命です。市議会の傍聴は、議員を叱咤・激励して奮起を促すためにも重要です。

また、「市議会だより」を開いて見てください。議員が自ら原稿を書き、議会だより編集委員会で検討を重ね、「もう少し何とか」と思いつつ、その結晶を各戸にお届けしています。

市民とともに歩む「議会だより」にしていきたいと思えます。
ご意見等をお寄せください。

市議会の傍聴は？

本会議の当日、市庁舎5階の議会事務局で受け付けしています。
【議会事務局】電話21-1160

本会議のインターネット中継は？

12月定例会からの導入を目指し、現在、準備を進めています。
今後は、各家庭のパソコンから議会のようすを見ることができるようになります。

市議会のホームページは？

市役所のホームページから『掛川市議会』の情報(議会日程、議会だより、会議録など)を見ることができます。

【ホームページアドレス】<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>



クリック

各常任委員会が 市内各所を視察

各常任委員会は、
5月26日から30日にかけて、所管事務事項の調査として、
主要道路や福祉関係施設など、市内の現地視察を実施しました。
各委員会より現地視察の内容を報告します。

総務委員会

所管事項

企画総務部、消防本部、出納局、監査委員、選挙管理委員会、公平委員会、水道部、他の常任委員会に属さない事項

【視察箇所】

- ・竹の丸、武器庫(城内)
- ・掛川東高校跡地
- ・消防署西分署
- ・原里浄水場
- ・加茂花菖蒲園
- ・掛川高瀬線(上内田)
- ・コーニングジャパン株式会社
- ・新井最終処分場(大淵)
- ・富田鉄工所跡地
- ・旧袋井土木事務所大東支所
- ・佐東地区センター
- ・旧河井弥八邸

新掛川市一期目の最後の年に当たり、これまでのまとめと、次の新しい四年の礎の年であるとの認識を持ち現地視察を行った。改めて感じたことは、新掛川市が広くなったということ、相変わらず多くの課題を抱えているということである。市民の福祉増進を図り、有終の美を飾るべく努力をしていきたい。



原里浄水場



西分署救助訓練

経済建設委員会

所管事項

経済建設部、農業委員会

【視察箇所】

- ・粟ヶ岳の茶文字
- ・農道伊達方公文名線(東山口)
- ・新エコポリス(東山口)
- ・22世紀の丘公園
- ・都市計画道路葛川下俣線(道神町)
- ・竹の丸修復工事(城内)
- ・沿道整備土地区画整理事業(二瀬川)
- ・茶工場の再編(原泉)
- ・ならこ温泉柚の館
- ・市営住宅原谷第2団地(本郷南)
- ・仮称西環状線(原谷・和田岡)
- ・南北道県道大須賀掛川停車場線(西大谷)
- ・洋望台土地区画整理事業(西大淵)
- ・松食い虫の被害状況(国安・千浜)
- ・公共下水道大東浄化センター
- ・大東温泉シートのピア
- ・海岸浸食の状況(千浜)
- ・南北道県道相良大須賀線(中地区)
- ・下小笠川廃川敷(大坂)
- ・高天神農道(三井)

掛川市は、東西十五キロメートル、南北三十キロメートルと広い面積を有し、海面からの高さを南では海拔、北では標高という。北部の農作物は、イノシシに荒らされ、南ではカラスの被害と、状況はかなり違う。これを逆手に取れば、山菜、茶、米、野菜、園芸作物などセレクトで販売すればと思つ。道路河川、下水道など、行政手法の違いで事業進捗が異なり、地域の実情と緊急性も考慮しつつ、バランスの取れた事業展開を望む。



粟ヶ岳の茶文字



大東浄化センター

文教厚生委員会

所管事項

福祉生活部、教育委員会、市立病院

【視察箇所】

- ・東高跡地総合福祉センター
- ・デイサービスセンター「なるたき」
- 〔認知症対応型通所介護施設〕
- ・千羽清掃センター跡地
- 〔埋蔵文化財センター予定地〕
- ・教育センター(上西郷)
- ・三笠民俗資料館保管庫
- ・三笠幼稚園建設予定地
- ・中央幼稚園建設予定地(和光の里)
- ・大須賀中央公民館
- ・大須賀歴史民俗資料館
- ・小笠老人ホーム(養護老人ホーム)
- ・大東北公民館東館
- ・市立総合病院

総合福祉センター(東高跡地)や中央幼稚園建設予定地など10ヶ所を視察。三笠民俗資料館保管庫には大量の古い生活用品が保管されており、大須賀歴史民俗資料館の展示物と重なるものもあり、整備が急がれる。市立病院の給排水衛生設備は、劣化しており、機能が麻痺する可能性を含んだ状況で稼働していた。



北公民館



教育センター

特別委員会を設置しました

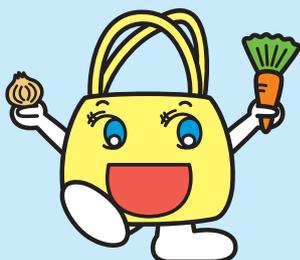
特定な事件の審査や調査を行うために設置される委員会を特別委員会といい、それぞれのテーマに基づき、中長期的施策の検討や提言を行います。

今年度は、「地球温暖化対策特別委員会」「財政問題特別委員会」「健康・福祉対策特別委員会」「議会だより編集特別委員会」の四つの特別委員会を設置しました。

また、昨年十二月に設置した「新病院建設特別委員会」については、今年度も継続して調査・研究を行っていきます。

ここでは、各委員会の調査内容を紹介いたします。

(委員長、副委員長)



「エコ・かばん」くん

地球温暖化対策 特別委員会

温暖化対策を地域から進めるため、行政と市民事業者が積極的に温暖化対策を実践していく施策や新エネルギー問題などの調査・研究を行っていきます。

【委員10名】

- 狩野 恒 桑原百合子
- 佐藤 博俊 鈴木 正治
- 菅沼 茂雄 河住 光重
- 松井 俊二 山本 義雄
- 水野 薫 豊田 勝義

財政問題 特別委員会

本市の厳しい財政状況を踏まえ、計画的な歳出抑制施策とともに自主財源の税収確保策など安定した歳入の確保を図るべく調査・研究を行っていきます。

【委員10名】

- 内藤 澄夫 大庭 博雄
- 戸塚久美子 鳥井 昌彦
- 水谷 陽一 山崎 恵司
- 戸塚 正義 大石與志登
- 堀内 武治 雑賀 祥宣



健康・福祉対策 特別委員会

少子高齢社会の中で将来にわたる持続的かつ安定的な医療保険制度の運営のため、医療・介護保険料にはね返らない、市民の健康増進策、医療・介護など高齢者に関係する施策などについて調査・研究を行っていきます。

【委員9名】

- 高塚 昌彦 高木 敏男
- 鈴木 治弘 竹嶋 善彦
- 石山 信博 東堂 陽一
- 八木 宏之 加藤 一司
- 鷺山 喜久



議会だより編集 特別委員会

市民への情報提供として「かがわ市議会だより」の編集・発行作業を行います。

【委員6名】

- 水谷 陽一 高木 敏男
- 鈴木 正治 桑原百合子
- 山崎 恵司 大石與志登

新病院建設 特別委員会

新病院建設に向けた新たな政策課題等に関する調査・研究を行っていきます。

【委員29名(全議員)】

- 鳥井 昌彦 堀内 武治

6月定例会における議案の審議結果一覧

【予算】

平成20年度掛川市一般会計補正予算（第1号） 賛成多数可決

【決算】

平成19年度掛川市病院事業会計決算の認定 賛成多数認定

平成19年度掛川市水道事業会計決算の認定 全会一致認定

【条例】

掛川市総合福祉センター条例の制定 賛成多数可決

掛川市手数料条例の一部改正 全会一致可決

掛川市学校給食共同調理場に関する条例の一部改正 全会一致可決

掛川市立総合病院使用料及び手数料条例の一部改正 賛成多数可決

掛川市消防団員等公務災害補償条例の一部改正 全会一致可決

【一般】

22世紀の丘公園園路広場等建設工事委託契約の締結 賛成多数可決

市営住宅原谷第2団地3期棟建築工事請負契約の締結 全会一致可決

公共下水道掛川4号汚水幹線築造工事（第5工区）請負契約の締結 全会一致可決

桜木小学校校舎耐震補強工事請負契約の締結 全会一致可決

掛川市道路線の廃止 全会一致可決

掛川市道路線の認定 全会一致可決

公の施設の指定管理者の指定（掛川市総合福祉センター） 賛成多数可決

【報告】

平成19年度掛川市一般会計繰越明許費の報告 賛成多数受理

平成19年度掛川市公共下水道事業特別会計繰越明許費の報告 賛成多数受理

【人事】

人権擁護委員の推薦（2件） 全会一致同意

【意見書】

「障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書」の提出 全会一致可決

【請願】

後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書採択の請願書 賛成少数不採択

議会 日誌



【5月】

- 20日 総務委員会協議会
経済建設委員会協議会
文教厚生委員会協議会
- 22日 市議会全員協議会
- 26日 経済建設委員会現地視察
- 27日 文教厚生委員会現地視察
- 28日 全国市議会議長会定期総会
(東京)
- 29日 市議会議員共済会代議員会
(東京)
- 30日 総務委員会現地視察

【6月】

- 1日 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(静岡市)
- 3日 新病院建設特別委員会

- 9日 議会運営委員会
議員懇談会
議会だより編集特別委員会
- 16日～7月4日
掛川市議会第3回(6月)定例会
- 20日 議会だより編集特別委員会
- 23日 地球温暖化対策特別委員会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 財政問題特別委員会
健康・福祉対策特別委員会

【7月】

- 1日 新病院建設特別委員会
議員懇談会
- 2日 議会だより編集特別委員会
- 7日～9日
経済建設委員会行政視察
(札幌市、富良野市、旭川市)
- 11日 議会運営委員会
- 14日 議会だより編集特別委員会

9月定例会の予定

- 3日 本会議(議案の提案説明)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(議案質疑、委員会付託)・常任委員会
- 18日 一般会計・特別会計
決算特別委員会
- 19日 一般会計・特別会計
決算特別委員会
- 29日 本会議(委員長報告、
質疑、討論、採決)

傍聴席

六月二十四日、初めて入った議場は傍聴席と議員席が思った以上に近く、皆さんの表情までよくわかり、とても身近に感じました。私には障害のある娘があり、袋井特別支援学校に通っています。今回、掛川市内の特別支援学校の再編計画やその卒業後の進路についての質問があることを知り、娘の学校でも児童生徒数の増加に伴う学校の大規模化・狭隘化が大きな問題になっている今、市立と県立の違いはあるものの関心があり、保護者数人で出かけました。障害があっても安心して暮らせる掛川市であってほしいと思います。こうして議題にあがり、市政の中心を担う方々に少しでも現状を知っていただくことはとても重要だと思いました。質問も答弁も私たちにわかりやすい言葉で、ご自身の持論を交えた市長さんの答弁も興味深く感じました。今後の進展が気になるところです。

他にも市立病院での院内暴力、医療費の未払い等々、気になる議題がたくさんあり、議会の様子を肌で感じることで、市政への関心もさらに高まりました。

私たちの願いをより多く市政に反映していただくためにも、是非また友達などを誘って傍聴に出かけたいと思います。

長谷 尾崎恵理子

編集後記

北海道洞爺湖サミットが開催され、初日は主要八カ国(G8)とアフリカ七カ国の拡大大会。深刻な食糧危機などを議論。世界の飢餓人口は年間四百万人余のペースで増え続け、世界の飢餓を深刻にしている原因の一つに日本が他国から大量の穀物を買っていることも指摘されています。日本の食糧自給率三十九%という農政の時代は許されませんが、農村を抱える地方議会の役割は、ますます重要。テレビで餓死寸前のやせ細った子どもたちの姿を見て、掛川市議会だよりの意義を改めて深めました。

委員長 水谷陽一



編集委員(左から)
大石與志登 委員/山崎恵司 委員/水谷陽一 委員長
高木敏男 副委員長/鈴木正治 委員/桑原百合子 委員